武庫川女子大学言語文化研究所シンポジウム
—言語文化の諸相：注釈、翻訳、翻訳語—

シンポジウムの開催にあたって

言語文化とは何か。この問いに答えるのは至難の業であるかもしれないが、基本的な了解として、言語という表現媒体に基づいて形成される文化であると理解することができよう。この言語文化の諸相を、注釈、翻訳、翻訳語という観点から多面的に考察を加えることにより、言語文化のもつ豊饒の世界を確認し、言語文化についての多様な研究の可能性を検討してみようというのが、本シンポジウムの目的である。

本シンポジウムは、武庫川女子大学言語文化研究所に所属する研究員を中心にしてパネリスト陣を構成した。対象とする研究分野は、現代日本語、漢文、英語、言語一般、教育学、文学に関わる言語文化である。言語文化についての多面的なアプローチのすがたを提示したい。

プログラム

司会：**玉井　暲**（言語文化研究所長・英語文化学科教授）　— 言語文化の諸相：注釈、翻訳、翻訳語

◇第１部　現代日本語をめぐって

1．講師：**佐竹　秀雄**（前言語文化研究所長・言語文化研究所嘱託研究員）　— 日本語表現の多様性—「言語文化」研究の目標
2．講師：**設楽　馨**（日本語日本文学科講師・言語文化研究所研究員）　— 文字はいつ・どこに発生するのか？
3．講師：**岸本　千秋**（言語文化研究所助手・言語文化研究所研究員）　— ブログにおける注釈とパラ言語

休　憩

◇第２部　言語文化の諸問題

1．講師：**柴田　清継**（日本語日本文学科教授・言語文化研究所研究員）　— 「漢文訓読」を考える：
　　佐藤　勝之（日本語日本文学科教授）　「漢字」・「漢文」・“羅文英読”
2．講師：**冨永　英夫**（英語文化学科教授・言語文化研究所研究員）　— 翻訳の不可能性について
3．講師：**山﨑　洋子**（武庫川女子大学客員教授・言語文化研究所研究員）　— 教育学と訳業

◇第３部　総括

玉井　暲（言語文化研究所長・英語文化学科教授）

2015年12月12日（土）
13：00～16：30

武庫川女子大学中央キャンパス
中央図書館 C－803教室

〒663-8558　西宮市池開町6-46
電話 0798-45-3536（直通）
阪神電車「鳴尾（武庫川女子大前）」駅下車、徒歩7分

参加無料　事前申込不要
ご興味ある方はどなたでもご参加ください。

主催：武庫川女子大学　言語文化研究所
HP：http://www.mukogawa-u.ac.jp/~ILC/
メールアドレス：ilc@mukogawa-u.ac.jp